

# 校長室だより



豊川市立東部小学校

令和3年12月1日

## 待ちに待った運動会！

緊急事態宣言により延期した運動会を、11月13日（土）に実施しました。感染対策として保護者の参観について、原則として1家族2名までと制限をつけさせていただきました。競走種目として、1・2年生はかけっこを、3年生以上はリレーを行いました。運動会本番では練習以上に力が入り、「本気」の顔がたくさん見られました。ダンスなどの表現運動には、どの学年も特に時間を使って練習してきましたが、運動会本番前の1週間で格段に上達しました。お家の方にいいところを見てもらいたいと頑張っている様子でした。特に6年生のフラッグを使った演技は抜群にすばらしく、見る人たちの心に残る演技になったことと思います。

保護者の皆様にご覧いただくことで、子どもたちは「本気」で演技・競技する体験ができました。ありがとうございました。



## 全国学力・学習状況調査から

5月に6年生が実施した全国学力・学習状況調査の、東部小学校の調査結果を紹介します。

### ■国語

「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均正答率を上回っていましたが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域は全国平均を下回っていました。特に、「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」などの記述式の設定で正答率が低く、課題です。

### ■算数

「図形」「測定」の領域は全国平均正答率と同じもしくは上回っていますが、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」領域は、全国平均よりやや下回っています。「30mlを1としたときに12mlが0.4に当たるわけを書く」ような、「思考・判断・表現」に係る力の不足が課題です。

### ■学習・生活習慣等の状況

「地域の行事に参加している」「算数は大切な」「算数で解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が全国平均を大きく上回っています。

「自分によいところがある」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」の回答率が、全国平均を下回っています。また、「ゲームなどを1日4時間以上行う」の回答率が全国平均より高く、「携帯電話などの使い方について、家の人との約束をきちんと守っている」と回答した児童の割合が低かったです。テレビゲームや携帯電話の使い方についても課題です。

★特に、「学習・生活習慣等の状況」における課題について、学校・家庭それぞれができる対応をすすめていけるとよいと考えます。

## 「パントマイム」アウトリーチ

11月18日（木）、市文化振興課主催のアウトリーチ事業により、4～6年生を対象としたパントマイムの公演を行いました。道化師の世界大会で金メダルを受賞した「ラストラダカンパニー」のお二人を派遣していただきました。公演後の体験では、まずエスカレーターを降りているように見せる技に代表者6人が挑戦。その後、見えない壁を伝ったり、ドアにぶつかったりする技には、全員が挑戦しました。コツを教えてもらおうと、それを応用してオリジナルを練習する児童の様子も見られました。笑顔がたくさん見られるイベントになりました。「失敗を怖がらなくてよい。次はうまくやると考えるきっかけになる。」「基本を繰り返す練習が大事。」など、大切なメッセージも伝えていただきました。

